

## CONTENTS

連結業績ハイライト／株主の皆さまへ  
中期経営計画(2013-2015)の推進

- 信頼されるグローバル企業を目指して

決算概要

株式概況／会社概況

# 第109期 中間報告書

2014.4.1～2014.9.30

証券コード 6470

 **大豊工業株式会社**

# 連結業績ハイライト

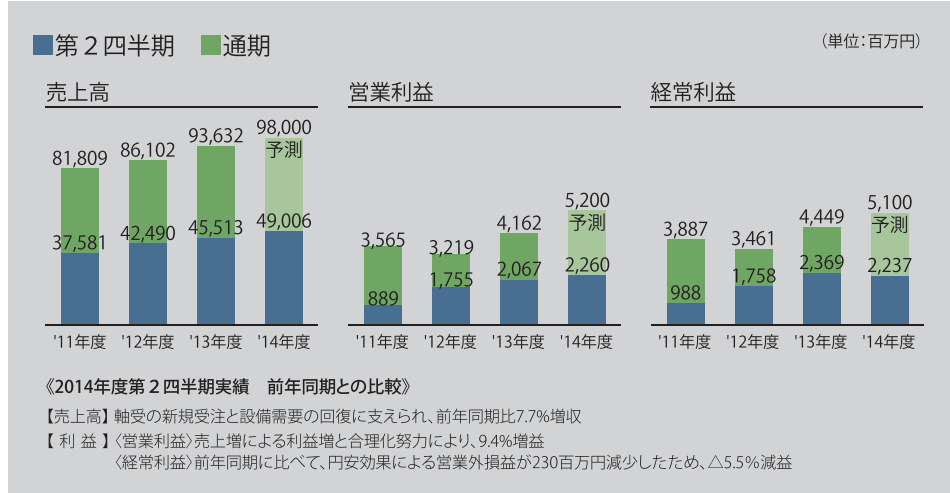
Financial highlight

## ■ 第2四半期実績

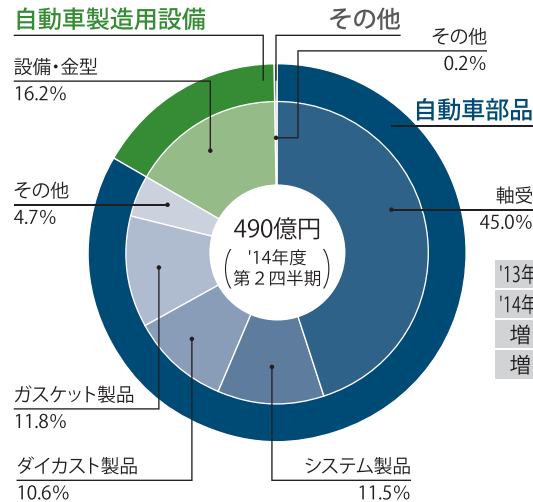
売上高 490億円  
 営業利益 22億円  
 経常利益 22億円  
 四半期純利益 14億円

## ■ 通期予測

売上高 980億円  
 営業利益 52億円  
 経常利益 51億円  
 当期純利益 31億円



## ■ 事業別売上高



	'13年度第2四半期	'14年度第2四半期	増減額	増減率
軸受	20,409	22,067	1,658	8.1%
システム製品	5,919	5,618	△300	△5.1%
ダイカスト製品	5,046	5,173	126	2.5%
ガスケット製品	6,010	5,777	△233	△3.9%
設備・金型	5,668	7,937	2,268	40.0%

【軸受】 海外向けエンジンベアリングとカーエアコン用コンプレッサ軸受の新規受注による増加  
 【システム製品】 足回り部品とターボ部品のモデル末期による一時的な減少  
 【ダイカスト製品】 新型ターボ部品の新規受注による増加  
 【ガスケット製品】 連結対象外の中国子会社への生産移管による減少  
 【設備】 設備需要の回復

# 株主の皆さまへ

To stockholders

株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
 2014年度の中間報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

## 【2014年度 上半期実績】 新規受注の増加により、当初計画を上回る実績を確保

2014年度上半期、世界経済は一時的に減少したものの、米国では景気が順調に拡大する一方、タイの政情不安や新興国景気の減速など、不透明な状況が続いています。わが国経済は消費税率引き上げの影響はあるものの、駆け込み需要の反動は徐々に和らいでおり、緩やかな景気回復が見込まれます。このような状況の中、自動車市場は全般には堅調に推移しています。

当社の上半期業績は、軸受の新規受注や設備部門の回復に支えられ、当初計画を上回る売上高490億円、営業利益22億円、前年同期比増収増益を確保しました。経常利益は、為替影響により1億円減益の22億円となりました。

## 【2014年度 通期見通し】 新製品の立ち上げと全社生産性向上により、2014年度目標の達成を目指す

2014年度下期は、不透明な経済状況が続くものと思われませんが、タイ新工場でのバキュームポンプ、過給エンジン用部品や新規受注した軸受の量産開始などにより、国内外での生産増加が見込まれます。このような状況の中、当社は中期経営計画に基づき、全社全部門で合理化・生産性向上の活動を進めます。これらの活動により、売上高980億円、営業利益52億円、経常利益51億円を目指します。

## 【将来に向けて】 新製品のスムーズな立ち上げと将来に向けた開発の継続

今下期から2015年度にかけて、新規および増産製品の立ち上げが世界各所で進行します。ここ数年の開発成果が製品として世に出ることになりますが、これらの確実な立ち上げを通じて、中期経営計画および「VISION 2020」の達成を目指します。

当社では引き続き、新製品や新工法・製法の開発に取り組んでまいります。これらを「VISION 2015」として集大成するとともに、来たる「VISION 2020」へとつなげてまいります。

## 中期経営計画目標達成から「VISION 2020」へ

「VISION 2015」の実現に向けて、当社はコアとする「トライボロジー」を核に製品群を組み上げてきました。軸受の自動車用から非自動車用への拡大、摩擦・摺動に関する環境対応製品などを実現してまいります。本年5月に策定した「VISION 2020」では、これらの製品とそれを生み出す新工法・製法の刷新、そして世界展開を通じて、環境への貢献を高めてまいります。

当社は、本年12月に創業70周年を迎えます。軸受やトライボロジー技術、そして株主さまをはじめとするステークホルダーの皆さまに支えられた70年と認識しています。この思いをもとに、従業員一丸となり次なる10年に取り組んでまいります。

株主の皆さまには、引き続き、ご支持・ご鞭撻をお願い申し上げます。

2014年11月  
 代表取締役社長 上田建仁

**会社方針** 中期経営計画 (2013~2015年度)

- 中期経営方針 ~ 信頼されるグローバル企業を目指して ~
- 強固な経営基盤のもと、継続的に新技術・新製品を開発する
- 迅速な海外生産展開により良品廉価製品をグローバルに提供する

2014年度はスローガンを「**信頼されるグローバル企業を目指して**」とする中期経営計画に基づき、新規開発製品の量産化、海外拠点での新規製品の生産開始や、既存製品の生産力強化など、売り上げやシェア拡大に直接結びつく施策を実行する年と位置付けています。

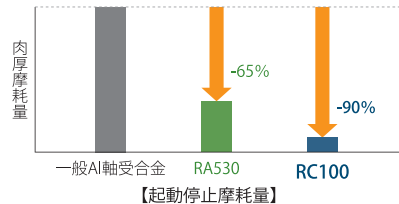
ここでは、「VISION 2015」達成に向けたさまざまな施策の進捗と、本年設定した「VISION 2020」を紹介します。

## 1. 主要製品の競争力強化

大型のディーゼルエンジンから小型のガソリンエンジンまで幅広く採用され、自動車の低燃費化に貢献している当社の樹脂コーティング軸受に新しいシリーズが加わりました。

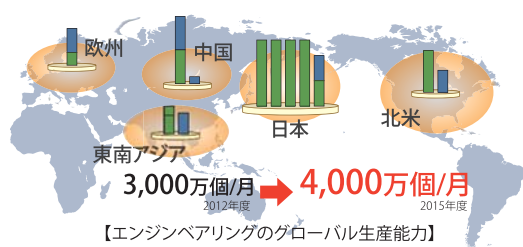
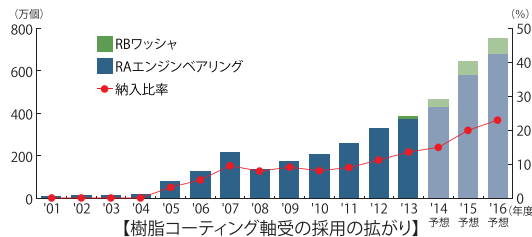


新コーティング材料(RCシリーズ)はRAシリーズの発展型の位置づけで、更なる低フリクション化により、新開発の低燃費エンジンへの採用が決まっています。



また、あわせて、コーティング方法を刷新したRA550を開発、低コスト化も実現しました。

製品性能での向上と、コスト競争力の強化により、軸受材料のグローバルスタンダードを目指し、シェア拡大を図ります。



## 2. 生産力強化とグローバル化

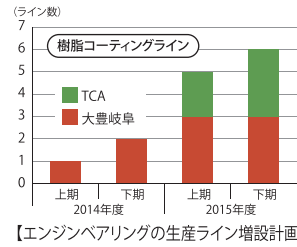
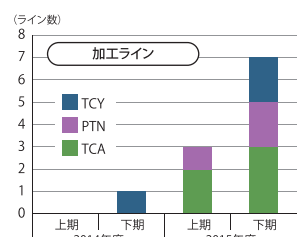
### ① エンジンベアリング

グローバルラインとして開発し、2013年にトヨタ技術開発賞を受賞した良品廉価ライン(RRライン)は、細谷工場で既に2ラインが稼働しています。

海外展開として、2015年にPTN(インドネシア)とTCY(中国)に計3ラインを新設する予定です。

また、TCA(北米)では、2015年にRAコーティングラインを3ライン新設する予定です。

大豊岐阜(株)では、2014年5月から新製法RAコーティングラインの量産を開始しました。2016年3月までに3ライン新設し、計10ラインの生産体制を実現します。

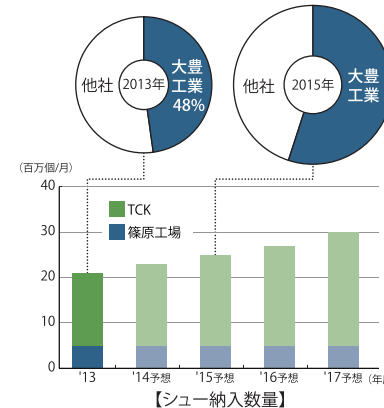


### ② カーエアコン用コンプレッサ軸受

TCK(韓国)では、2014年上期に工場の拡張工事を実施、カーエアコン用コンプレッサの軽量シューの生産ラインを増強しました。



【大豊グループのシューの世界シェア(推定)】



これにより、2012年比約2倍の生産能力を確保することができました。今後、TCKを拠点としたグローバル生産体制を構築していきます。

### ③ バキュームポンプ

TCT(タイ)では、新工場プラチンブリ工場バキュームポンプの生産ラインが完成し、2014年10月に開所式を行いました。



TCTで行われた開所式



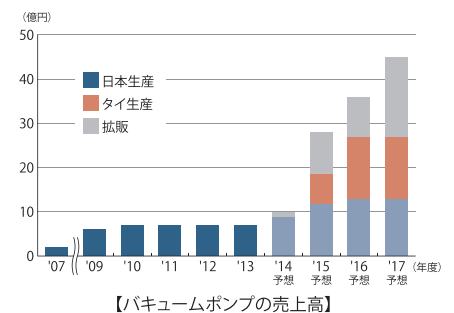
従業員との記念写真

2007年より篠原工場生産を開始したバキュームポンプは、同年6月にトヨタ自動車(株)より「ヴォクシー・ノアプロジェクト表彰(技術の部)」を受けました。その後、シリーズ化部品共通化などの改良を続け、2014年2月には「TNGA推進優秀賞」を受賞しています。

システム製品の海外生産は当社としては初めてで、TCTからは2015年1月の量産開始を予定しています。



【シリーズ化したバキュームポンプ】

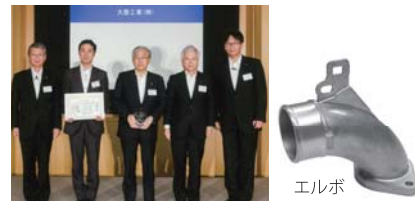


### 3.過給ダウンサイジングへの挑戦

低燃費ニーズの高まりとともに、過給ダウンサイジングエンジンがグローバルで拡大しています。それに伴って、当社ではターボチャージャのベアリングセット、ガスケット、バキュームポンプの需要が拡大しています。さらに新たなターボチャージャ部品を開発しています。

アルミダイカスト新工法のエルボの量産を開始しました。従来、エルボのような湾曲部品は重力铸造が主流でしたが、製品回転によるシンプル鑄抜き技術の開発によってダイカスト化に成功し、軽量・コストを実現しました。

このエルボは、2014年5月に本社工場で生産を開始し、8月にトヨタ自動車(株)より「レクサスNX200tプロジェクト表彰(技術の部)」を受賞しました。



内部組立構造を工夫したウェイトゲートバルブの新型アクチュエータを開発しました。将来に向けて、電動化の開発を進めています。

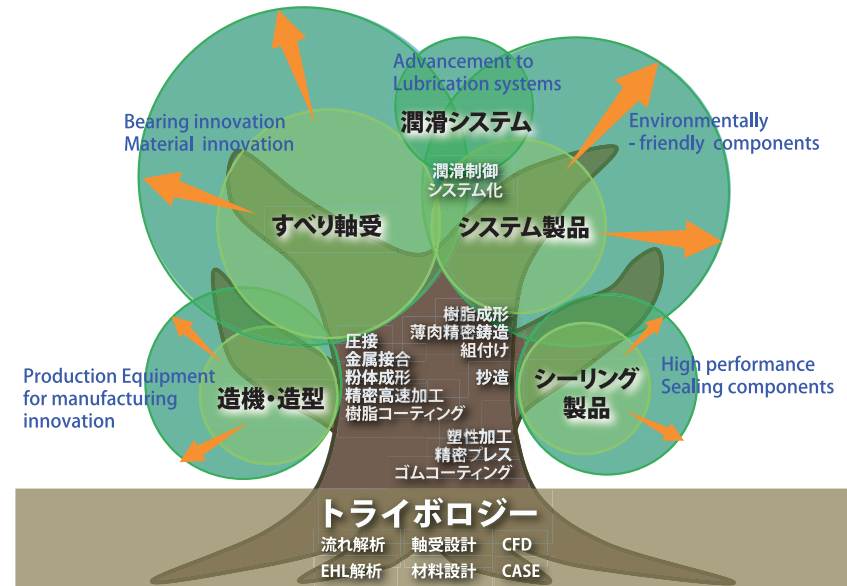
### 4.中期経営計画目標達成から「VISION 2020」へ

#### すべり軸受No.1 環境ブランド獲得



#### VISION 2020イメージ

#### 多様な製品群で地球環境とお客様に貢献する



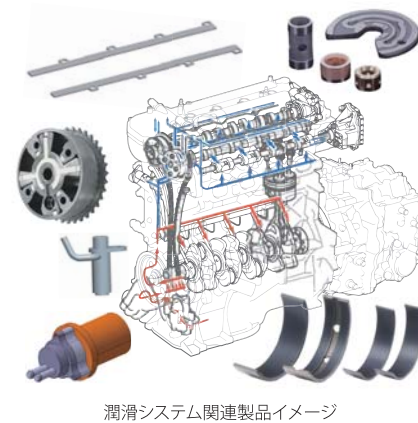
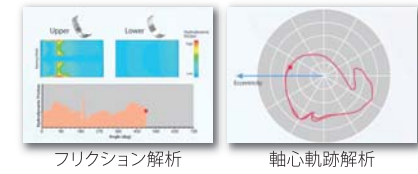
2013年度から2015年度にわたる中期経営計画は、「VISION 2015」の達成期間でもあります。

さらにはスムーズな「VISION 2015」の達成と発展の先に「VISION 2020」を描き、本年、策定しました。

「VISION 2020」では当社のコアとなるトライボロジーの下、軸受から潤滑システムへの流れをつくり上げます。

「VISION 2015」において、潤滑系の解析、最適化ソフトを完成させ、一部製品の先行開発を進めています。

「VISION 2020」においては製品化を推進しています。



【中期経営方針】2013-2015  
VISION 2015

## 信頼されるグローバル企業を目指して

- 強固な経営基盤のもと、継続的に新技術・新製品を開発する
- 迅速な海外生産展開により良品廉価製品をグローバルに提供する

### CSRトピックス

#### ■ 70周年記念事業でのインフラ整備

2011年以降、創業70周年(2014年)に向けた、社内インフラの再構築を進めてまいりました。

スペース不足、施設の老朽化や、機能低下などを解消するとともに、リーマンショック後の停滞感を打ち破る力としました。



九州工場食堂改装('11/2)



本社駐車場整備('11/11)



細谷立体駐車場建設('12/1)



技術開発センター改装('12/5)



細谷工場食堂改装('13/1)



丸山研修所建替('13/5)



篠原工場ロビー改装('13/12)



幸海工場駐車場分離('14/3)



新独身寮建設('14/4)



託児所建設('15/4予定)

#### ■ 大豊工業レポート2014 発行

2014年度から、これまでの「環境報告書」を進化させ、経営指標(財務)と、それを支える諸活動(非財務)まで含めた「大豊工業レポート」を発行しました。これは、多くのステークホルダーの皆さまに当社を知っていただく重要なツールとして位置付けています。



# 決算概要

Financial statements

## 連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当第2四半期連結会計期間末 2014年9月30日現在	前連結会計年度末 2014年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>45,095</b>	<b>49,935</b>
現金及び預金	12,217	18,916
受取手形及び売掛金	17,801	16,907
たな卸資産	9,035	8,551
繰延税金資産	1,397	1,424
その他	4,835	4,336
貸倒引当金	△ 191	△ 200
<b>固定資産</b>	<b>52,469</b>	<b>51,062</b>
有形固定資産	45,412	44,282
建物及び構築物	11,582	10,670
機械装置及び運搬具	14,046	13,853
土地	13,320	13,339
建設仮勘定	4,992	5,109
その他	1,470	1,309
無形固定資産	1,404	1,459
投資その他の資産	5,652	5,320
<b>合計</b>	<b>97,564</b>	<b>100,997</b>

【流動資産】当第2四半期連結会計期間末における流動資産は45,095百万円であり、前連結会計年度末に比べ4,840百万円減少しております。現金及び預金の6,698百万円の減少、受取手形及び売掛金の893百万円の増加、たな卸資産の483百万円の増加、電子記録債権の318百万円の増加が主な要因であります。

【固定資産】当第2四半期連結会計期間末における固定資産は52,469百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,407百万円増加しております。建物及び構築物の911百万円の増加、投資有価証券の235百万円の増加、機械装置及び運搬具の192百万円の増加が主な要因であります。

科目	当第2四半期連結会計期間末 2014年9月30日現在	前連結会計年度末 2014年3月31日現在
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	<b>26,589</b>	<b>28,477</b>
支払手形及び買掛金	14,490	12,730
短期借入金	793	836
未払費用	5,058	4,380
その他	6,247	10,530
<b>固定負債</b>	<b>17,024</b>	<b>18,552</b>
長期借入金	14,302	16,382
退職給付に係る負債	1,494	958
その他	1,227	1,211
<b>負債合計</b>	<b>43,614</b>	<b>47,029</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	<b>52,131</b>	<b>51,566</b>
資本金	6,463	6,440
資本剰余金	9,932	9,909
利益剰余金	35,927	35,408
自己株式	△ 191	△ 191
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>1,102</b>	<b>1,717</b>
その他有価証券評価差額金	1,100	942
為替換算調整勘定	115	878
退職給付に係る調整累計額	△ 113	△ 103
<b>新株予約権</b>	<b>50</b>	<b>41</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>666</b>	<b>641</b>
<b>純資産合計</b>	<b>53,950</b>	<b>53,967</b>
<b>合計</b>	<b>97,564</b>	<b>100,997</b>

【流動負債】当第2四半期連結会計期間末における流動負債は26,589百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,888百万円減少しております。1年内返済予定の長期借入金の2,452百万円の減少、支払手形及び買掛金の1,760百万円の増加が主な要因であります。

【固定負債】当第2四半期連結会計期間末における固定負債は17,024百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,527百万円減少しております。長期借入金の2,080百万円の減少、退職給付に係る負債の536百万円の増加が主な要因であります。

【純資産】当第2四半期連結会計期間末における純資産は53,950百万円であり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少しております。為替換算調整勘定の763百万円の減少、利益剰余金の518百万円の増加、その他有価証券評価差額金の157百万円の増加が主な要因であります。

## 連結損益計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>49,006</b>	<b>45,513</b>
売上原価	40,357	37,257
販売費及び一般管理費	6,387	6,189
<b>営業利益</b>	<b>2,260</b>	<b>2,067</b>
営業外収益	181	502
営業外費用	203	200
<b>経常利益</b>	<b>2,237</b>	<b>2,369</b>
特別利益	13	5
特別損失	126	47
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>2,125</b>	<b>2,327</b>
法人税、住民税及び事業税	542	824
<b>法人税等調整額</b>	<b>161</b>	<b>△ 42</b>
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>1,421</b>	<b>1,544</b>
<b>少数株主利益</b>	<b>10</b>	<b>84</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>1,411</b>	<b>1,460</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2013年4月1日から 2013年9月30日まで
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,702</b>	<b>3,490</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 4,549</b>	<b>△ 2,830</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 4,885</b>	<b>△ 2,355</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△ 94</b>	<b>169</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△ 5,827</b>	<b>△ 1,525</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>17,852</b>	<b>12,698</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>12,024</b>	<b>11,172</b>

## 中間配当金

2014年10月30日開催の取締役会において、2014年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対して行う中間配当金につき、次のとおり決議しました。

### ①中間配当金

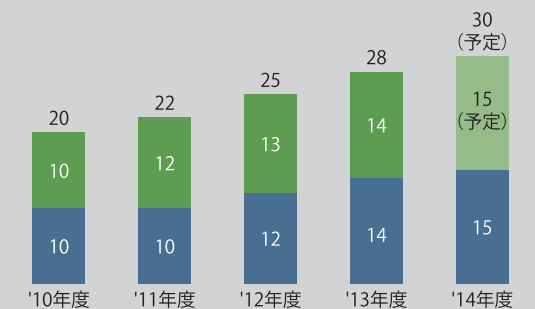
1株につき15円

### ②効力発生日ならびに支払開始日

2014年11月26日

### 1株当たり年間配当金

■ 中間配当金 ■ 期末配当金 (単位:円)



株主の皆さまへの利益還元と事業の成長および経営基盤の強化のための内部留保を総合的に勘案し、長期にわたり安定的な配当の継続を基本に考えています。

継続した拡販活動と合理化努力により、当初計画を上回る業績を実現できたため、中間配当金を1円増配し15円とさせていただきます。さらに期末配当金を1円増配し、年間配当金は30円を予定しています。

# 株式概況 (2014年9月30日現在)

Stock information

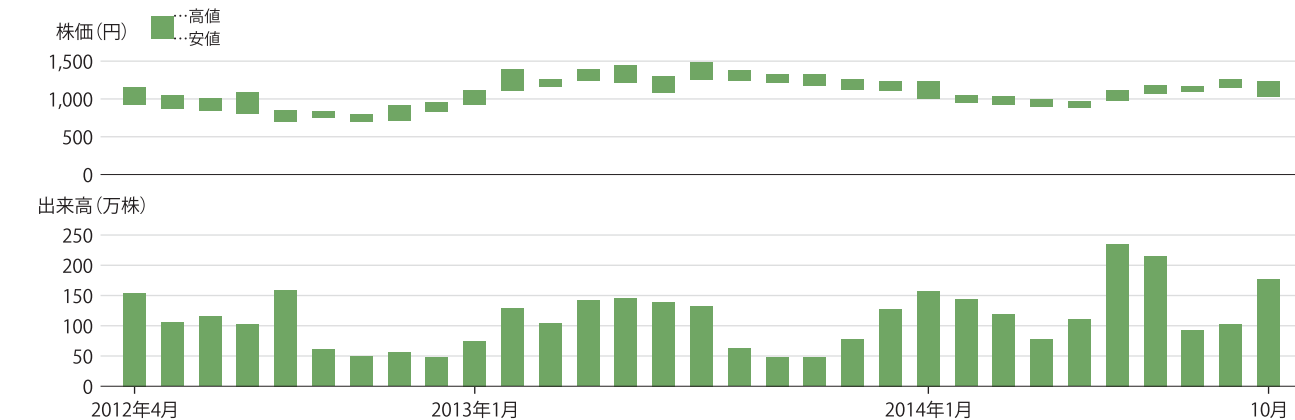
## 株式の状況

発行可能株式総数	48,400千株
発行済株式の総数	28,810千株
株主数	4,578名

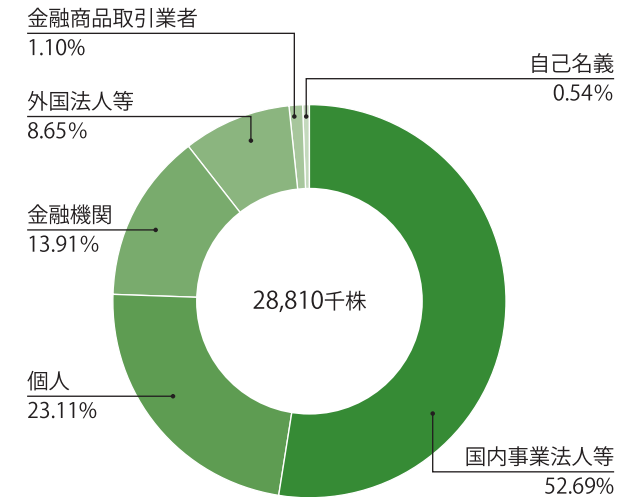
### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
豊田通商株式会社	1,071
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	830
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	817
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	465
大豊工業従業員持株会	459
野々山秀夫	305
柴田幸子	256

## 株価の推移



## 所有者別株式分布状況



# 会社概況 (2014年9月30日現在)

Corporate profile

## 会社概要

創 業 1944年12月  
 資 本 金 64億6千3百万円  
 従 業 員 数 連結:3,970名 単独:1,710名  
 本社所在地 〒471-8502  
 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65  
 TEL (0565) 28-2225 (代表)  
 事 業 内 容 軸受製品、ダイカスト製品、ガasket製品  
 組付製品他、精密金型  
 上記の製造および販売

## 事業所および営業所

本社/本社工場(愛知県豊田市)  
 細谷工場(愛知県豊田市)  
 篠原工場(愛知県豊田市)  
 幸海工場(愛知県豊田市)  
 九州工場(鹿児島県出水市)  
 東京営業所(東京都中央区)  
 大阪営業所(大阪府大阪市)

## 国内子会社

大豊精機株式会社(愛知県豊田市)  
 日本ガasket株式会社(愛知県豊田市)  
 大豊岐阜株式会社(岐阜県可児郡御嵩町)  
 株式会社ティーイーティー(愛知県春日井市)  
 株式会社タイホウライフサービス(愛知県豊田市)  
 株式会社タイホウパーツセンター(岐阜県土岐市)

## 主な海外子会社

タイホウ コーポレーション オブ アメリカ(アメリカ)  
 タイホウ ヌサンタラ株式会社(インドネシア)  
 タイホウ コーポレーション オブ ヨーロッパ 有限会社(ハンガリー)  
 韓国大豊株式会社(韓国)  
 大豊工業(煙台) 有限公司(中国)  
 タイホウ コーポレーション オブ タイランド(タイ)  
 常州恒業軸瓦材料有限公司(中国)

## 取締役

代表取締役社長	上田 建仁
代表取締役副社長	杉原 功一
専務取締役	村井 茂
専務取締役	山崎 謙一
専務取締役	近藤 隆彦
専務取締役	川上 真也
専務取締役	楠 隆博
社外取締役	木村 好次

## 監査役

常勤監査役	佐藤 章雄
常勤監査役	神谷 莊司
社外監査役	白柳 正義
社外監査役	高見 達朗
社外監査役	安田 益生

## 執行役員

常務執行役員	原田 淳
常務執行役員	川治 豊明
常務執行役員	河合 信夫
常務執行役員	佐藤 光俊
常務執行役員	高間 建一郎
執行役員	大河内 光人
執行役員	吉井 利治
執行役員	岸 吉信
執行役員	出崎 亨
執行役員	粟津 滋喜

## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
ホームページ	<a href="http://www.taihonet.co.jp/">http://www.taihonet.co.jp/</a>

## ● 株式関係のお手続きについて

1. 株式関係のお手続きにつきましては、お取引先の証券会社までご連絡ください。また、特別口座で管理されている株につきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



お問い合わせ先 TEL (0565) 28-2225 (代) 総務部広報室